

同時発表：内閣府、農林水産省、環境省

令和4年8月30日  
都市局 公園緑地・景観課

## 令和4年（第16回）みどりの学術賞受賞記念イベントを開催します

「みどり」に関する学術上の顕著な功績のあった個人に対し内閣総理大臣から授与される「みどりの学術賞」の第16回受賞者である北島薫氏、岡田清孝氏によるトークイベントを開催しますので、是非お越しください。

内閣府は、日本科学未来館との共催により、みどりの学術賞受賞記念イベントを開催します。  
「みどりの学術賞」は、植物、森林、緑地、造園、自然保護等に関する研究や技術開発など、「みどり」に関する学術上の顕著な功績のあった個人に内閣総理大臣が授与するものです。  
今回は、第16回みどりの学術賞受賞者である北島薫氏、岡田清孝氏をお迎えしてトークイベントを開催します。

### 【催事名】

令和4年（第16回）みどりの学術賞記念イベント  
「ようこそ、みどりの研究室！～植物の“なぜ”に迫る研究者たち～」

### 【日時】

令和4年 9月3日（土） 13：30～15：40

### 【場所】

日本科学未来館

### 【主催】

内閣府、日本科学未来館  
※みどりの学術賞及びみどりの式典に関する事務については、内閣府が、文部科学省、農林水産省、国土交通省、環境省等関係省庁の協力を得て行っています。

### 【内容】

令和4年みどりの学術賞である北島薫博士、岡田清孝博士によるトークイベント

### 【その他】

事前登録制・無料  
日本科学未来館 HP (<https://www.miraikan.jst.go.jp/events/202209032657.html>) より申し込み  
(定員約80名、席に余裕があれば、当日受付有り)

### <本件問い合わせ先>

内閣府大臣官房総務課みどりの学術賞及び式典担当室  
担当：藤原、竹内（林野庁 森林利用課）  
野村、傳見（国土交通省 都市局 公園緑地・景観課 緑地環境室）  
電話：03-3502-8243（藤原、竹内）／ 03-5253-8420（野村、傳見）

## 令和4年（第16回）みどりの学術賞 受賞記念イベントのお知らせ

### ようこそ、みどりの研究室！～植物の“なぜ”に迫る研究者たち～

「みどりの学術賞」は、国内において植物、森林、緑地、造園、自然保護等にかかる研究、技術の開発その他の「みどり」に関する学術上の顕著な功績のあった個人に内閣総理大臣が授与する賞です。このたび、令和4年みどりの学術賞を受賞された北島薫氏、岡田清孝氏のトークイベントを開催します。受賞者の方々のお話を聞きながら、「みどり」の面白さ・大切さに触れる貴重な機会となりますので、ぜひ多くの方のご来場をお待ちしています。

**日時：令和4年9月3日（土）13：30～15：40**

#### 第一部 13：30～14：30

#### 日陰で生きる樹木の芽生えをみつめて ～持続可能な森林の今とこれからの探究する～

北島薫氏（京都大学大学院 農学研究科 教授）

概要：熱帯林の森のなかで芽生える樹木の生存戦略と、森が続いていく仕組みを通して、持続可能な森林の今とこれからのについて考えます。博士が35年以上にわたり続けられてきたフィールドワークの魅力もたっぷりご紹介します。

ファシリテーション：日本科学未来館

みどりの科学コミュニケーター 遠藤 幸子 氏



#### 第二部 14：40～15：40

#### 遺伝子からさぐる、植物の形づくりのナゾ

岡田清孝氏（龍谷大学 Ryukoku Extension Center 顧問、

京都大学名誉教授、基礎生物学研究所名誉教授、総合研究大学院大学名誉教授）

概要：遺伝子レベルのミクロな変化が、植物の成長や機能にもたらす影響について、シロイヌナズナの突然変異体を実際に観察しながら、解説していただきます。植物の形づくりの不思議と一緒に迫りましょう！

ファシリテーション：日本科学未来館

みどりの科学コミュニケーター 上田 羊介 氏



### 開催場所：日本科学未来館 1階 コミュニケーションロビー

#### <お申し込み方法>

日本科学未来館 HP より、事前登録を行ってください（席に余裕がある場合は、当日受付あり）  
イベントページ：<https://www.miraikan.jst.go.jp/events/202209032657.html>

#### <主催>

内閣府（みどりの学術賞及び式典担当室）、日本科学未来館

#### <お問い合わせ>

内閣府 みどりの学術賞及び式典担当室 【林野庁森林利用課内】

電話：03（3502）8243

FAX：03（3502）2887（担当：藤原、竹内）

イベントページ



## 第16回みどりの学術賞受賞者 功績概要

北島 薫 (きたじま かおる) 京都大学大学院 農学研究科 教授



### 「熱帯林の機能生態学と持続可能な地球環境への貢献」に関する功績

光環境に応じた成長と生存のトレードオフ関係があれば、倒木等により不均一な環境が生じた森林では様々な樹種が共存できる、という仮説を熱帯林で実証し、森林の更新過程の機能生態学分野において顕著な研究成果をあげた。また、熱帯林の基礎的なデータが限られる中、林冠クレーンを用いた森林上部の葉の光合成や呼吸量等を世界に先駆けて測定し、熱帯林生態系の炭素収支モデルの精度向上に大きく貢献した。さらに、IPCC（気候変動に関する政府間パネル）特別報告書の代表執筆者を務めるなど国内外で学術の社会貢献にも努力している。以上のように、北島氏は植物生態学の立場から、生物多様性の維持機構や気候変動の影響に関する先駆的な研究成果をあげ、地球環境にとっても重要な熱帯林の保全に大きく貢献した。

岡田 清孝 (おかだ きよたか) 龍谷大学 Ryukoku Extension Center 顧問、  
京都大学名誉教授、基礎生物学研究所名誉教授、総合研究大学院大学名誉教授



### 「モデル植物シロイヌナズナを用いた植物分子遺伝学の確立と植物器官発生機構の解明」に関する功績

シロイヌナズナをモデル植物として我が国で最初に研究に取り入れ、特に、花や葉、根の形態形成や、重力、光、接触等の物理的刺激に応答した成長制御に着目した遺伝学的研究において顕著な成果をあげた。その成果は、イネやダイズ、トマトなど多様な農作物における形態形成機構の解明や生産性向上に関する研究の確立に繋がった。また、国内外の植物研究者や大学院生を対象として新しい実験技術を示すワークショップ等を開催し、研究者ネットワークを構築したほか、特定領域研究の代表等を通じて、シロイヌナズナ研究を定着させた。これらの成果により、モデル植物を用いた植物科学研究の確立に多大な貢献を示すとともに、農業問題や環境問題の解決につながる植物科学の発展に大きく貢献した。

### みどりの科学コミュニケーターがわかりやすくお伝えします

内閣府（みどりの学術賞及び式典担当室）では、日本科学未来館の科学コミュニケーターを、みどりに関する科学的な知見を分かりやすく伝える「みどりの科学コミュニケーター」に任命しています。各種イベントや「科学コミュニケーターブログ」(<https://blog.miraikan.jst.go.jp/>)などで「みどり」に関する情報発信の活動を行っています。

(北島先生のご紹介ブログ)

<https://blog.miraikan.jst.go.jp/articles/20220713post-470.html>

(岡田先生のご紹介ブログ)

<https://blog.miraikan.jst.go.jp/articles/20220615post-469.html>



遠藤幸子さん



上田羊介さん